

会議録

会議の名称	西東京市使用料等審議会 平成18年度 第5回会議
開催日時	平成19年2月2日（金） 午後2時から午後4時20分まで
開催場所	田無庁舎3階庁議室
出席者	米田会長 宮本副会長 吉田委員 竹之中委員 坂口市長 事務局：櫻井ごみ減量推進課長 篠宮環境防災部主幹 河合ごみ減量推進課係長 矢口管財課長 木村道路管理課長 砂押都市計画課係長 萩原管財課主査 飯島企画課長 金子企画部主幹 西谷企画部副主幹 山野上企画課主任
議題	1 個別案件「西東京市一般廃棄物処理手数料（家庭ごみ）の改定について」の諮問 2 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市一般廃棄物処理手数料（家庭ごみ）の改定について 資料2 手数料原価計算書 資料3 多摩地域家庭ごみ有料化実施市（15市）の概要（平成19年1月1日現在） 資料4 西東京市廃棄物行政に関する施策について「家庭ごみの資源化促進と適正な費用負担について」答申 資料5 西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例施行規則
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>議題1 個別案件「西東京市一般廃棄物処理手数料（家庭ごみ）の改定について」の諮問</p> <p>事務局：家庭ごみの資源化促進や費用負担についての基本的な方向性は、廃棄物減量等推進審議会から答申をいただいている。有料化に伴い、平成19年9月からごみの収集を戸別収集とし、同10月からその他プラスチックの回収、同11月から指定袋での有料化を開始する予定である。有料化により10%のごみの減量を見込んでおり、それにかかる直接経費の30%、1リットル当たり2円を負担していただきたいと考えている。この金額は、安い地域への流出を防止するため近隣の額を考慮している。</p> <p>質疑応答</p> <p>委員：ポリ容器で出す方法や、ガラスから見ると不透明に見える袋を使う方法などもあるのではないかと。</p>	

事務局：特殊な袋は2倍、3倍と高額である。可燃と不燃は同一の袋としたり、その他プラスチックはミニ袋を作らないなど経費を抑え、市民には新たな負担や分別をお願いしていきたい。

委員：資料1の収支見込みで示された経費について詳しく説明してほしい。

事務局：収集方法は、ステーション回収から戸別回収に変更する。戸別収集関係経費はその経費である。容り法分別関係経費は、処理施設への運搬、選別、圧縮、梱包にかかる経費である。かん・ビンと異なり、プラスチックは加工しにくい資源であり、再利用にかなりの経費がかかる。有料化関係費は、指定袋の作成費や販売取扱店への手数料である。

委員：有料化すると逆に持ち出しが増えるようである。ごみが減るのだから経費も減るのではないか。

事務局：中間処理施設や最終処分場の維持管理経費があるので歳出は減らないのが実情である。共同でゴミ処理をしている柳泉園組合では、昨年度から行革の委員会を立ち上げて行革に取り組み始めている。

委員：最終処分場は、東京都では一部事務組合で実施しているが多摩地域も一部事務組合か。

事務局：一部事務組合である。搬入量により2年後の分担金が変わってくる。

委員：手数料原価計算書に記載された委託は一般競争入札をしているのか。

事務局：その他プラスチックの受入業者は多摩では限定されており、契約できる業者は実質上1社しかない。

委員：できるだけ低額で契約する必要がある。

事務局：柳泉園組合を構成している他の2市と同じ金額で契約したいと考えている。

委員：現業職員の人数が多いのではないか。

事務局：退職しても不補充とし、順次委託化していく。

委員：有料化して1～2年はごみが減るが、慣れてくると元に戻ってしまう。1日平均何グラムのごみが各家庭から出ているのか調査してはどうか。

事務局：このような入口で調査をしている自治体はそれほど多くないが、最終処分場に持ち込む量については、多摩26市同じ方法で算出している。西東京市では、総排出量が増えているが、年2,000人程人口が増加しており、1人当たりの排出量は減っている。

委員からの意見

- ・都市の美観に配慮し、市民がベストであると実感できる収集方法を確立してほしい。
- ・ゴミ処理の実情をデータ等で示し、市民に理解を求めることが必要である。
- ・エコ環境効果についてアピールすべきである。

議題2 その他(1) 事務手数料の適正化について

事務局：前回の答申で、道路証明と都市計画証明の手数料について原価との乖離を指摘されていた。諮問額は26市の平均程度であるが、中には突出して高い額の市もある。仮にその額にした場合、改定額の上限は現行額の1.5倍とすることを定めた「使用料・手数料等の適正化に関する基本方針」の例外となることから、今後は乖離についての考え方を整理、検討していきたい。

質疑応答

委員：道路証明は都市計画証明よりも消耗品費が高いがどうしてか。

事務局：コピーする枚数が多く、また、大きいコピーが必要なためである。

委員：利用者が誰なのかを考える必要はあるが、原価計算に近づけるというのが適正な判断なのではないかと思う。他市で金額を高くした理由は何か。

事務局：次回報告する。

議題2 その他(2) 田無庁舎駐車場の有料化について

- ・総務部から、中間報告の追加調査についての報告があった。

議題2 その他(3) 次回日程について

- ・次回は2月9日午前10時から開催する。